

市議会

\ 伊勢崎のさがわかる /

いせさき

第3回
定例会

No.68

2018.7.16

伊勢崎市田島弥平旧宅案内所条例案など17議案を可決



- | | |
|------------|--------------|
| 2 定例会の概要 | 11 議案等の議決結果 |
| 2 主な議案の概要 | 12 表彰・感謝状受賞 |
| 3 一般質問 | 12 政務活動費収支報告 |
| 10 常任委員会審査 | 12 各種お知らせ |

赤堀花しょうぶ園

定例会の概要

第3回

6月12日～28日

市長から提出された議案 16件

- 条例関係 9件
- 人事案件 2件
- その他 5件

議員から提出された議案 1件

6月12日 本会議

- ・会期決定(6月28日までの17日間)
- ・会議録署名議員の指名
- ・全国市議会議長会表彰状及び感謝状伝達式
- ・議員提出議案(伊勢崎市議会会議規則の一部を改正する規則案の1件)を可決
- ・市長提出議案の提案理由の説明(伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案など13件)
- ・議案に対しての質疑
- ・所管の常任委員会に議案等の審査を付託

6月13日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、選挙管理委員会委員長及び所管の部長)
- 6月14日 本会議
- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、選挙管理委員会委員長及び所管の部長)

6月18日 総務委員会

- ・議案の審査 2件
- ・所管事務調査

6月19日 文教福祉委員会

- ・議案の審査 6件
- ・請願の審査 1件
- ・所管事務調査

6月20日 経済市民委員会

- ・議案の審査 2件
- ・請願の審査 2件
- ・所管事務調査

6月21日 建設水道委員会

- ・議案の審査 3件
- ・所管事務調査

6月28日 本会議

- ・常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・市長提出議案の提案理由の説明(和解及び損害賠償の額を定めることについてなど3件)
- ・議案等の審議(結果は11ページに記載しています)

用語解説

質疑 議題となつていている議案などの不明確な点を明らかにするために行つ発言。

審査 委員会で付託を受けた議案、請願について議論し、一応の結論を出す課程。

付託 議会で議案などに対し意思決定することに先立つて、詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会、議会運営委員会または特別委員会に審査を委託すること。

問 第3子以降の学校給食費の負担軽減は

答 前向きに検討していきます

子育て支援について

問 人口対策及び子育て支援策をさらに充実させる観点から、第3子以降の学校給食費の負担軽減について、県内市町村の動向や税負担の公平性に十分留意のうえに検討を進める必要があると思うが、市長の考えは。

答 子育て支援策として、さまざまな事業を実施していますが、保護者向けの負担軽減としては、保育施設等の入所の際に発生する利用者負担の減額を図ってきました。子育て支援のさらなる充実の観点から、学校給食費の負担軽減についても、前向きに検討していきます。

スポーツ行政について

問 第83回国民体育大会・第28回全国障害者スポーツ大会における本市での実施競技種目は。

答 昨年度、県から競技開催意向の予備調査の依頼があり、伊勢崎市スポーツ協会と協議のうえ、あかぎ国体の経緯も踏まえて、ソフトボール競技及びバレーボール競技を希望順位の上位に掲げ、その他にバスケットボール競技、バドミントン競技及び卓球競技の計5種目を回答しました。今後、第1次会場地選定案が審議され、平成33年頃には、本市で開催される競技種目が候補

として選定されると伺っています。

問 実施競技種目は、施設基準にどのようなにかかわるのか。

答 国民体育大会開催基準要項で定める施設基準によると、施設の新設、改修等は、大会開催後の地域スポーツ振興への有効的な活用を考慮し、必要最小限にとどめるものとする示されています。また、競技施設整備基本方針では、競技運営に支障がないよう、計画の段階から当該競技団体及び関係機関と十分協議するとともに、ユニバーサルデザインへの対応等、誰もが利用しやすい施設となるように努めるとされています。このことから、本市での実施競技種目が決定した場合は、国民体育大会開催基準要項や競技施設整備基本方針に基づき実施していきます。



子育て支援の充実を

一般質問 議員が市の行政全般にわたり、市長等の執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針等について質問すること。

主な議案の概要

伊勢崎市立学校設置条例の一部を改正する条例案

伊勢崎市立豊受幼稚園を閉園することに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市田島弥平旧宅案内所条例案

旧境島小学校校舎の1階部分に田島弥平旧宅等に係る解説や展示などを行うガイダンス施設として田島弥平旧宅案内所を設置することに伴い、制定の必要を認めたものです。



旧境島小学校校舎

伊勢崎市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案

新たに喜多町地区を指定したことに伴う伊勢崎都市計画地区計画の変更及び処罰範囲の明確化に伴い、改正の必



伊勢崎地方卸売市場

問 無償貸し付け契約の今後の方向性は

答 貸付料の有償化や売り払いの検討を進める

市有土地・建物の無償貸与について

問 市有不動産は市民の貴重な財産であり、アセットマネジメントに関する十分な認識をしたうえで、効果的に活用する必要があるが、本市の現状は。

答 普通財産として市が保有する土地及び建物のうち、使用貸借契約による無償貸し付けを行っているものの件数及び面積は、土地が100件で約18万4000平方メートル、建物が12件で約2万490平方メートルです。

使用目的別の土地の内訳は、行政区の会議所敷地等が67件で3万9000平方メートル、保育園敷地が10件で2万5000平方メートル、国や県等への貸し付けが23件で12万平方メートル。建物は、行政区の会議所が3件で170平方メートル、保育園が1件で510平方メートル、その他が8件で1万9810平方メートルです。

これらの貸し付けは、基本的には「伊勢崎市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」で無償としています。合併前からの継続事業であるものなど、従来の契約が継続しているものもあるため、昨年度、無償貸し付けの状況調査を実施しました。

問 伊勢崎市公有財産活用等検討委員会の内容及び市の方向性は。

要を認めたものです。

伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案

保険外併用療養費用を改めることに伴い、改正の必要を認めたものです。改正後の額は次のとおりです。

- 初診 5400円
- 再診 2700円
- 時間外 5400円

宮郷公民館新築工事請負契約の締結について

- 工事場所 田中島町地内
- 請負代金額 2億6028万円
- 受注者 上栢建設株式会社

財産の無償貸付について

伊勢崎地方卸売市場に係る土地及び建物を無償貸付をしようとするものです。

- 貸付期間 平成31年7月1日から平成34年6月30日までの3年間
- 相手方 株式会社伊勢崎地方卸売市場



使用貸借契約をしている県営住宅敷地



問 境総合運動場駐車場の整備の計画は

答 早期に実施したいと考えています

境総合運動場について

問 平成29年6月定例会の一般質問で、安全に施設利用できるよう利用者の要望も踏まえ適宜対応していくとの答弁があったが、その後の整備状況は。

答 昨年の7月に管理棟の壁面及び照明器具の修繕を行い、10月には東側の陸上100メートルレーンのラインテープの修繕を行いました。

問 駐車場の白線が消えており、駐車位置が不明確になっているが、今後の駐車場整備の計画は。

答 近隣施設や地域の行事等での利用を考慮し、駐車場の区画線の整備を早期に実施したいと考えています。また、本年度の整備として、周辺の農作物の発育に影響を及ぼさないよう配慮した夜間照明を修繕する予定です。

引き続き、安全に施設を利用できるよう日常点検等を行い、老朽化しているものについては交換、修繕等を行うなど適切な対応をしていきます。

若者を対象にした政策について

問 20代・30代を対象にした同窓会補助金事業は、都市部からのUターンやIターンの移住を促すうえで一定の効果があると感じるが、導入の考えは。

答 若者の定住人口の増加や地域経済

活性化のための手段の一つとして研究していきます。

問 本市をより魅力的で持続性あるまちにするためには、若者の声を聞き、ニーズを的確に把握して政策に反映することが必要ですが、その仕組みの一つとして、若者会議の開催の考えは。

答 本市では、平成17年8月に市内の小学6年生参加の子ども議会を開催したほか、昨年10月には伊勢崎青年会議所主催によるいせさき学生会議2017が開催されています。

若者会議の開催については、市民参加の手続きの一つとして、他市の事例を参考にしながら研究を進めていきます。

その他の質問

●登下校の安全対策について



若者のニーズを把握して政策に反映を

問 新たな工業団地についての調査の状況は

答 現況把握と権利者の実態調査等です

工業団地について

問 新たな工業団地の候補となっている伊勢崎南部工業団地周辺区域の調査の状況は。

答 この区域は、交通便利性に優れ、既に4つの工業団地が集積した区域でさらなる産業集積を担うことができる地域と考えています。昨年度、産業団地の整備に向けた計画策定の業務委託を実施しました。主な業務内容は、周辺区域に整備された道路や水路などの構造物の規模や排水能力などの現況把握、権利者などの実態調査等です。

問 伊勢崎南部工業団地が拡張となれば大型車の通行増加は明らかと考えるが、伊勢崎南部第三工業団地内を東西に走る道路の延長整備は。

答 市道(伊)9・530号線の延長整備は、この道路の東側を起点とし、県道境島村今泉線を結ぶ延長約550メートル、基本幅員11・75メートルの片側歩道付き道路の整備を計画しています。この道路整備により、大型車の円滑な通行、安全性の向上はもとより、産業及び経済を支える道路ネットワークの強化を図っていきます。

なお、この整備は、規模が大きくなると予想されるため、今後の交通量の変化、都市計画道路上矢島米岡線の進

捗状況、地域の実情及び新たな産業団地の事業化の進捗状況等を考慮しながら事業化に向けて検討していきます。

問 新たな工業団地の候補となっている境北部工業団地周辺区域の調査の状況は。

答 この区域は、北関東自動車道の伊勢崎インターチェンジ及び太田数塚インターチェンジへのアクセスに優れ、企業誘致の受皿として産業集積を担う可能性を持つ地域であると考えています。調査状況については、伊勢崎南部工業団地周辺区域と同様の内容を委託により実施しました

その他の質問

●市内における人口動態について

●地域医療連携における情報共有及びICT活用について



伊勢崎南部工業団地

問 協議の場設置の進捗状況は

答 年度内の設置に向け準備を進めています

医療的ケア児・重症心身障害児について

問 実態及び支援内容は。

答 医療的ケア児については、昨年11月に県が県内の医療機関を対象に行った調査によると、本市でケアが必要とされる方は41人で、このうち在宅の方は30人。ケアの内容は、経管栄養、たんの吸引、在宅酸素療法、胃ろうなどです。重症心身障害児については、本年6月1日現在、30人が児童相談所に登録され、障害児入所支援や障害児通所支援などのサービスを受けています。

問 保護者には相当な負担がかかっているが、負担軽減への取り組みは。

答 医療的ケア児に対しては、平成27年4月から伊勢崎市障害者医療的ケア支援事業を実施し、施設や学校などにおけるケアが必要な児童等に対する支援を開始し、保護者の負担軽減に努めています。また、重症心身障害児に対しては、本年6月1日現在、短期入所を20人に、放課後等デイサービスを17人に、児童発達支援を3人に、それぞれ支給の決定を行い、保護者の負担軽減に努めています。

問 重症心身障害児を主たる対象とする事業所の確保は全国的にも難しいと

されているが、本市の現状及び事業所の確保に向けた取り組みは。

答 昨年11月、市内に、医療的ケア児及び重症心身障害児を主たる対象とする事業所が開設されました。伊勢崎市第1期障害児福祉計画では、このような事業所の開設を目標としており、今後も引き続き、事業所が新設されるよう努めたいと考えています。

問 関係機関が連携を図るための協議の場設置への進捗状況は。

答 現在、保健、医療、教育等の各関係機関との調整を図り、本年度内の設置に向け、準備を進めているところで

その他の質問

●救急医療体制について

●子ども・子育て支援について



保護者の負担軽減を

問 ひきこもり実態調査の実施の考えは

答 調査研究していきたいと考えています

ひきこもりについて

問 就職も進学もしない中学校卒業生数及び全体に占める割合の推移は。

答 本市では、平成25年度が42人で2・0％、平成26年度が23人で1・1％、平成27年度が20人で1・0％、平成28年度が29人で1・3％、昨年度が29人で1・4％となっています。県の割合は、平成25年度0・9％、平成26年度0・9％、平成27年度0・6％、平成28年度0・6％で、昨年度の割合は、まだ公表されていません。

問 若年無業者数の推移は。

答 総務省の集計では、全国で、平成25年が約60万人、平成26年、27年、28年が各約56万人、昨年が約54万人です。

問 ひきこもりの現状を把握するため、市による区長等への聞き取りでの、実態調査の実施の考えは。

答 国では、平成27年に内閣府による調査が実施され、関東近県では、平成27年に山梨県、平成28年に茨城県が実態調査を実施していますが、群馬県では実施していません。本市では、県及び県内他市町村の動向を踏まえて調査研究していきたいと考えています。なお、区長等への聞き取りについては、個人情報保護法に抵触しない範囲で



伊勢崎クラブ 佐藤 智 則



日本共産党議員団 長谷田 公子

きるか検討していきたいと思っています。

問 支援につなげる窓口を身近な場所へ設置すれば相談が寄せやすくなると思うが、支援体制の構築の考えは。

答 現在、庁内の複数の相談業務の窓口において相談を受けており、相談内容によっては、群馬県ひきこもり支援センターをはじめ、各関係機関や医療機関と連携して対応しています。

今後も引き続き、市民活動課を中心に相談窓口を持つ関係部局による情報共有を進めていくとともに、もしこいういう悩みがありましたらこちらへという御案内ができるような方法もと考えています。

その他の質問

●総合的な交通政策について

●子どもの貧困への対応について



ひきこもりの現状の把握を



問 華蔵寺公園遊園地の集客の現状は

答 PRはがきを送付し誘客に努めています

華蔵寺公園について

問 市外からの利用者も多く、保育園や幼稚園の子どもバスで訪れている、華蔵寺公園遊園地における集客の現状は。

答 昨年度の利用者数は、192万9974人で、大変多くの皆様に御利用いただいています。

遊園地では、集客につなげるための取り組みとして、季節ごとのイベントを実施しており、敬老の日やハロウィンなどに合わせたイベントを実施する予定です。

また、お客様感謝デーや群馬県民の日などにも遊具の無料開放を予定して多くの皆様に遊園地を御利用いただけるよう取り組んでいます。

さらに、無料情報誌やホームページを活用した周知を行うとともに、県内外の保育園、幼稚園などにPRはがきの送付を行い、誘客に努めています。

問 華蔵寺公園は、真ん中に道路が通っており、交通事故を心配する声がある。そのため、混雑時の通行止めや華蔵寺公園と体育施設を一体的に捉えた周辺道路及び駐車場整備の考えは。

答 遊園地と水生植物園の間の南北道路市道(伊)1・525号線の廃止については、広範囲に道路利用者がいるこ

とから難しいと考えています。

また、駐車場については、混雑が予想される時期には、近隣の民間事業者の皆様へ新たに臨時駐車場借用の御協力をお願いするなどの対応により、利便性の向上に取り組んでいます。

伊勢崎市文化会館について

問 展示場設置の考えは。

答 今回の文化会館の改修に併せ、3階の旧結婚式場等、現状では倉庫として活用している部分を展示に適したスペースへ改修します。

なお、改修に当たっては、伊勢崎市文化協会等を中心とした利用者の皆様から御意見を伺いながら進めていきます。

その他の質問

●合併特例事業債について



華蔵寺公園周辺道路の整備を

問 教職員の働き方改革プラン策定の考えは

答 国及び県の動向を注視していきます

教職員の負担軽減に向けた取り組みについて

問 学校業務の適正化についての現状と今後の考えは。

答 平成28年度から、夏季休業中に5日間の学校閉庁期間を設定し、昨年度からは、事務の効率化を図る校務支援システムを導入しました。本年度からは、部活動に係る活動方針を作成し、活動時間と日数の上限を定め、平日1日、休日1日の休養日を確保するよう中学校に周知しました。また、出退勤時刻の記録を基に、勤務時間等の実態を把握し、今後の教職員の負担軽減に向けた体制づくりを生かしていきます。

問 教職員の人的支援についての現状と今後の考えは。

答 本市では、学習や生活の面で支援が必要な児童・生徒に対して教育支援員を50人、日本語指導や日常生活の支援が必要な外国籍児童・生徒に対して学校生活支援助手を24人配置しています。また、児童・生徒や保護者等の相談業務を行う相談員及びスクールカウンセラーを全ての小・中学校及び中等教育学校に配置しています。昨年度からは、印刷や書類作成などの支援に当たる校務支援員を小・中学校12校に、本年度からは、スクール・サポート・



教職員の働き方改革プランの策定を

その他の質問

●業務改善について

●投票率向上のための根拠のある施策について

問 教職員の働き方改革プランの策定が必要と考えるが、教育長の考えは。

答 国及び県の動向を注視していきます。スタッフを小・中学校12校に配置しています。今後も、役割分担を進め、教職員1人当たりの業務量の軽減を推進していき、さらなる人的支援については、各学校の現状等を把握し、実態に応じて配置を検討していきます。また、さまざまな専門員がいるなかで、子供たちが誰のところに行ったらいいか自ら判断できる教育をしていくことが大事だと考えています。



いせさき未来 馬庭 充裕

問 資産経営の考え方の導入は

答 効果や課題を研究していきます

資産管理について

問 これからの公共サービスや民間委託のあり方を柔軟に進めるため、官民連携の手法に切り替える考えは。

答 厳しい財政状況の中、公有資産の管理において官民連携の取り組みであるPPPやPFI事業等の活用は、施設の設置目的や性質にもよりますが有効な手法であると認識しています。

今後も、継続して官民連携に関する手法について調査研究をしていきます。

問 老朽化したプールを撤廃し、資産経営の考え方である、必要な時に必要な資源を経済的に活用する観点から、民間のスイミングスクールを賃借する考えは。

答 本市においては、小・中学校の全てにプールが設置されており、これまで老朽化が進んだプールは、計画的に更新工事を行ってきました。学校にプールがあることで、移動時間がなく効率的な水泳指導が行われており、体育授業以外にも活用され、放課後や夏季休業中の水泳指導も盛んに行われています。

民間施設を借用して水泳の授業を行うことは、有効な点があると認識していますが、限られた授業時間の中で、移動に要する時間や手段等の課題があ

るため、他の授業時間の確保に影響があると考えています。本市小・中学校の特徴や水泳施設の状況を踏まえて、その効果や課題を総合的に研究していきます。



正 論 伊 藤 の 純

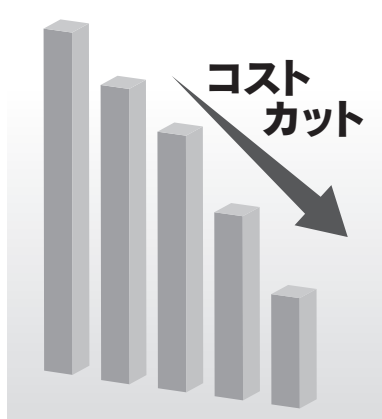
問 公共施設の社会的な便益と負担のあり方を検討する部署として資産管理経営室を創設する考えは。

答 専門部署の設置については、各施設の整備や管理運営をどのように実施していくかを整理する必要があるため、今後、公共施設等総合管理計画に基づいて策定される個別施設計画の内容等を踏まえ、検討していきます。

その他の質問

●所有者不明土地問題について

●伊勢崎市徘徊高齢者等位置情報サービスについて



官民連携の一層の推進を

問 河川・水路・道路側溝等の管理について

答 水利権者と個別に協議し検討していきます

河川等の管理者は。

問 一級河川を国及び県、準用河川及び普通河川を市、農業用水路を地域の水利組合が中心に行っています。また、雨水排水路は、下水道法に基づく雨水幹線を下水道管理者、それ以外を市が行い、道路側溝は、道路法に基づき設置された排水施設を道路管理者が行い、市道の側溝等を市が管理しています。

問 日常的な管理と大雨時等災害が予想される場合の管理状況は。

答 日常的な管理として、パトロールを実施し、浚渫、除草等を状況に応じ随時実施しています。また、転落等の防止のため、防護柵、蓋等の設置及び修繕を進めています。水害が予想される場合は、各河川等の水位及び冠水被害想定箇所の状況を迅速に把握するとともに、各管理者と連動した水門、堰等の施設の操作により、冠水等の被害が生じないように管理を行っています。

問 水田を利用する農家数と水田面積の現状及び管理上の課題は。

答 農林業センサスによると、平成27年度の農家数は1143戸、水田面積は1725ヘクタールで、昭和60年を

基準とする割合は、農家数が20%、面積が76%で、農家数は大幅に減少し、面積も減少傾向にあります。また、農業用水路への生活排水流入による悪臭については、年間通水により解消が図られるため、地区の水利権者と個別に協議し検討していきます。

今後の農業用水路の維持管理は。

答 老朽化した水路は、地域の御要望を踏まえ、緊急性を考慮しながら補修工事等を実施し、大規模な取水堰は、補助事業を活用しながら定期的な点検調査の結果に基づき整備計画を策定し、改修工事を行っています。今後も水利組合及び関係機関と連携を図りながら適切な維持管理に努めていきます。

その他の質問

●体育施設の管理・運営について



農業用水路

表彰・感謝状受賞

6月12日、本会議開会冒頭の議場において、全国市議会議長会表彰状及び感謝状伝達式を行いました。

表彰受賞

市議会議員として、市政の振興に努められた功績により、表彰されました。

議員在職15年全国表彰受賞者

●堀地和子氏

●伊藤純子氏



議員在職10年全国表彰受賞者

●森田修氏

●鈴木良尚氏



感謝状受賞

全国市議会議長会の評議員として、会務運営の重責にあたり使命達成に尽くされた功績により、感謝状を受賞しました。

●田島勉氏



政務活動費収支報告

政務活動費の収支報告をお知らせします。なお、市のホームページでは四半期ごとに、支出状況報告書、会計帳簿、領収書、視察報告書を公開しています。

用語解説

政務活動費

地方議会の活性化や議員の調査研究、その他の活動基盤の充実等を図る観点から、これらの活動に必要な経費の一部を助成するものです。

本市議会では、会派の支出額に応じて後払いで交付しています。なお、1会計年度における政務活動費の交付額は、会派所属議員数に月額3万5000円を乗じた額が上限額となっています。



平成29年度会派別政務活動費収支報告

会派名	人数	会派支出額	政務活動費交付額
伊勢崎クラブ	18人	7,608,380円	7,560,000円
政経クラブ	5人	2,183,526円	2,100,000円
公明党	3人	1,221,873円	1,221,873円
日本共産党議員団	2人	803,886円	803,886円
正論の会	1人	400,395円	400,395円
いせさき未来	1人	414,845円	414,845円

※平成29年度の収支報告のため現在の会派構成と異なります

次回定例会日程表 (予定)

8月

31日 金 本会議

5日 水 本会議

6日 木 本会議(一般質問)

7日 金 本会議(一般質問)

11日 火 決算特別委員会

12日 水 決算特別委員会

9月

14日 金 本会議

18日 火 総務委員会

19日 水 文教福祉委員会

20日 木 経済市民委員会

21日 金 建設水道委員会

28日 金 本会議



議会を傍聴しましょう

本会議は議場で、決算特別委員会及び常任委員会(総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会)は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。
なお、日程、時間等は変更になることがあります。



マチを好きになるアプリ

市議会

伊勢崎のさがわかる /

マチイロでいせさき

無料アプリマチイロを利用して、スマートフォンやタブレット端末で市議会いせさきをいつでもどこでも読むことができます。

マチイロの主な特徴

- 市のホームページに接続しなくてもアプリで広報紙を読めます
- ページめくりや拡大・縮小などの操作も簡単にできます
- 気になる記事はメール添付やSNSの投稿などに利用できます。

利用までの流れ

- ① App Store・Google Playでマチイロを検索し、アプリをダウンロード。
- ② 個人設定で「お住まいの地域」などを設定。
- ③ 登録完了。発行日に最新の広報紙が配信されます。

※アプリのダウンロード及び利用は無料ですが、情報を受信する際の通信料は利用者の負担です。また、アプリで表示される広告は伊勢崎市議会とは関係ありません。

